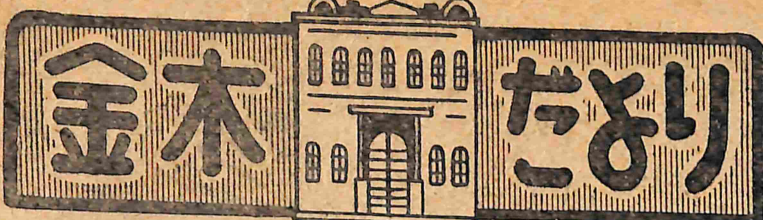


水泳についての五つの約束

- 必ず三人以上でいく。
○きめられた所で泳ぐ。
○隊の人にいく場所、友達の名前を知らせていく。
○ひとりで行かない。
○人のいない所で泳がない。



泳ぐ時の注意

- 水に入る前は必ずかき氷運動をする。
○体をぬらしてから入る。
○水に入っている時間は長くても三十分。
○おぼれたまねをしない。
○泳ぎがすんだらきれいな水であらう。

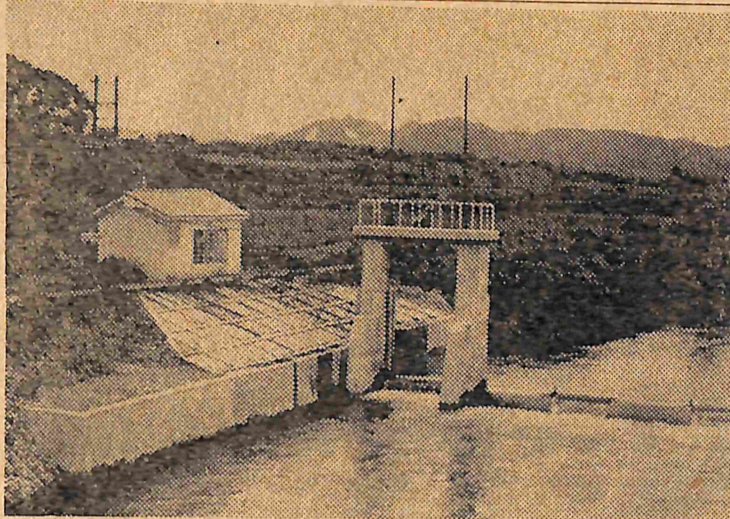
8月の解説と行事

はつき

陰暦の八月のことを「はつき」という。この「はつき」の意味は「八月、木の葉もみちて落ちるゆえに、葉落月(はちまつき)というからきたとする説があり、また、いねの穂が満ちる月という意味からちまつて「はつき」となったとも伝えられています。

主な行事

- 旅の新生活運動(1日~10日)
○ガール・スカート・アジア大会(7月31日~8月7日)
○第17回全国レクリエーション大会(1日~4日)
○夏季犯罪の防止運動(1日~31日)
○夏季食品一斉取り締り(8月15日~9月30日)
○公証人法施行の日(16日)
○海外移住週間(24日~30日)



【写真】最新式の沢部堰揚水機

用水の悩み解消さる

スイッチで操作の最新式

金木川上流(喜良市橋より東へ)は、昭和三十五年六月下旬の地点)の沢部堰頭直工一年の間にわたっての災害で決壊したので、仮設の揚水機で水不足を補っていました。...

二年継続事業

沢部堰の揚水機完成

八百四十三万余円

昭和三十五年の二年にわたっての洪水により、決壊した沢部堰頭直工機が、昨年の取り付け工事は、昨年十一月十五日から町直營で着手、このほどついに完成し、受益者一同から喜ばれています。

盛大な行事で賑わう

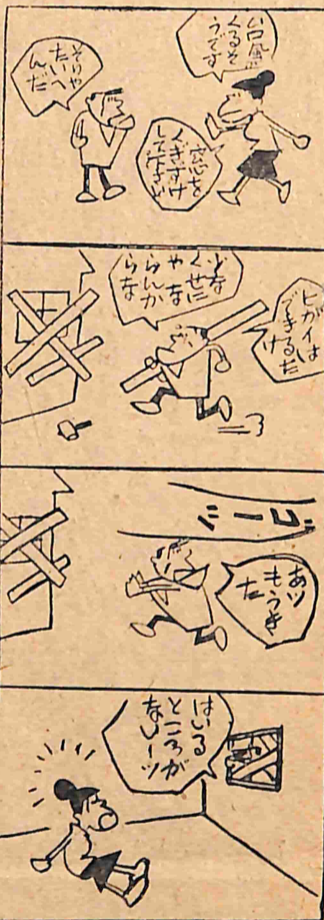
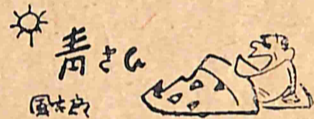
ネブタも出揃う夏まつり

春の夕桜まつりとならんで、年中行事の一つとなった夏まつりも、ことしは金木町と商工会が共催で、きたる八月十三日から十五日までの三日間にわたって行なわれることになりました。

土地改良に低利資金

年三分五厘で十八年償還

青森県の土地改良事業は、全国一で、しかも低利な農林漁業資金を融資して、事業をすすめる当時は、農地の交換分合をやっているのみで、最もおくれる地帯とされています。



人口動態

Table with population statistics for 1963 (昭和38年7月1日現在). Columns include gender, age group, and various demographic categories.

非行防止に協力を

金木町青少年問題協議会(会長 金木町長三上武男)では、さる七月三日協議会を開き、年少者の非行防止問題などについて話し合いを行ないました。

イタコの地蔵祭り

賑わうのは八月十二、三日

戸野湖(雄枝湖)の北東に、老松にかこまれた丘陵地帯を穿る川原といわれていますが、ここに小さな地蔵堂がある。これを二般には川倉の地蔵サマといっています。

金木春秋

長雨と冷害型の年というので農家の皆さんが心配していましたが、最近、天候も回復しているようですし、なによりと喜んでいます。

金木病院、十一日からネブタ運行

公立金木病院の職員で組織している互助会では、夏まつりに先だって、きたる十一日からネブタを運行することになっていますが、日程は次のとおりです。

- 八月十一日 金木一円
八月十二日 喜良市
八月十三日 中里町
八月十四日 町内合同運行
八月十五日

私たちの広場

＜参加者＞

金木町教育委員長 教育委員 同	山中 谷今	亀新 源	一蔵
木育委員 同 同 同	田村 安木 鳴森 泉谷	雄三 百久 海敏 征太	三子 一吉 夫郎
町長 総務課長補佐	花田 三今	一男 七	
教育長 社協主事	高橋 山中	四郎 き	
委員 長	笹森 早苗	苗部	
社教委員 長	だよ		

町報「金木だより」の編集部では、五月号から「私たちの広場」という欄を設けて、町の皆さまのお話し合いの内容を載せることにしています。今回は、社会教育の先導地として知られている三戸郡南部町を、六月下旬に金木町教育委員会が視察してきました。そのとき参加した方たちの感想文を座談会形式にまとめ、次号と一回にわたって載せることにしました。

なお、感想文を座談会形式にまとめるさい、重複している点は整理し、発言者はA、Bの順として表わしましたから恐縮します。

南部町の教育施設略図



三戸郡南部町 教育施設を見る

司会 先日朝早くからの視察旅行で、苦勞を蒙りました。マイクロボスの途中、花田先生が「国、県が人づくり運動を展開しているのだから、末端の市町村でも計画的に進めなければ、特に金木は停滞気味だから、もっと力を入れていた方がいいのでは」といっていましたが、南部町を視察しての通り、「町ぐるみ」の人づくりムードをつくらなければ、「と書きんも感した」といいます。

幸い、町当局および教育委員会は、学校教育はもちろんだこと、ことからは、いままで以上に、社会教育に力を入れることになり、この春からは山中先生を社会教育主事に任命し、すでに活動を始めています。人づくりムードをつくるためには、むずかしい問題があると思えます。

つきましては、この大規模な視察旅行より有意義なものにするため、それぞれの立場から感じたことを卒直に述べ、今後の指導ともなればこの上もない幸いと存じます。

明るい畑作中心の町

新しさ取り入れた生活様式

司会 夫、南部町についての印象とあらましについて……

A 馬淵川とその上流渡辺川の北側に、国道に沿って開けた岩手県に近い町で、旧平崎村と向村の二つ村が合併し、人口は私たちの町の半分約八千人ですが、東北本線の三戸駅と諏訪ノ平駅があり、近くには八戸工業地帯が控えているので活気の溢れた明るい町という感じ……

B そうです。そして、昔から野菜と果実の生産地として知られているのですが、バツクには八戸市があるので、換作物の研究がさかんだし、不完全ではあるが共同市場をもち、販売面にも重点をおいて農業行政が行なわれており町の人たちも、農業は安定した職業であることを意識しているように見受けられます……

C 同感です。五人家族で水田〇・四畝、畑〇・八畝を耕作しているという相内部落の山内さんのお宅を訪問してみても、その感を強くしました。外観は、どの農家とも変わりのない家ですが、古い

ものの中に思いっきり新しい考えを生かしており、しかも年間粗収入が約八十万円だといいますが、驚きです。金木地方では水田一畝四十万円とみてその約二倍です。

D 山内さんの場合、五人家族がみな働き手ですから十分な収入が得られるので、それはそれとして生活様式も近代的ですね。部屋は

一人一部屋、事務室と食堂をかねた台所は、ステンレスの広い流し台があって、さらに電話と小黒板それに電気器具の三種の神器が備わっているというくらいです。全くうらやましい。

司会 私たちの見た範囲では、なにもかも皆うらやましい限りで、それに学校、社会教育面の施設が非常に充実されていると、これもうらやましいことばかり……ところで山内さん、E そうですね、Eさん、Eさんがくわしく書いていたようですが……

E そういってわけじゃありませんが、予備知識もなく、ただまんざら行ったのが、行ってみたい、はじめて南部町のお話をわかりやすくしたからですね。

F 私もそうですね。

司会 おそらく皆さんもそうだろうと思いませんか……

生活改善を思いやりやっている町という感じが、教育施設を中心にひとつ……

でしようが、公民館費は年間百五十二万円、それから人件費や維持管理費を除けば、実質的な活動費は一館あたり六十七万円くらいになっています。

それで、予算書を見ても明らかで、正直なところ「たいしたことはない」と思ったものです。だが、見ていこうと聞くうちにそれが私の誤りであったことに気がつきました。それは、町の指導的立場にある人はもちろん、町民そのものが自主的に公民館活動を行ない、そして社会教育を実施していることがわかったからです。社協主事の石戸谷さんの「文部省から補助を受けなければならないのだが、そのために活動が制約される。その自主的活動が、型にはまらなぬものになるおそれがある。町の一般財源のみでまかなっている。地域内の問題は、下からの、もろあがりやを導くようにしている」ということがそれです。

公民館は部落ごとに

自力で民主的な社教活動

E ところで、前の話しにもどるようですが、CとDさんの申し述べていたところの主人の山内さんが「八戸という消費地をもち、指導的立場にある人たちが、地域社会の実情にマッチした指導と施策の積み上げです」と申し上げましたが、こらへんとして清潔な感じの校舎の新庁舎、十五学年編成の統合中学校を約九千万円の三年計画で建てているテラックスな校舎、そして中央公民館のほかに各部落に六つの分館などいずれをとりあげても、すばらしい一語につきまします。

F とまか、人口約八千人の小な町という観念からは、想像もつかないうち教育施設が整っていることは、見た人でなければわからないでしょう。しかし町民の立ち場にある人はもちろん、町民そのものが自主的に公民館活動を行ない、そして社会教育を実施していることがわかったからです。社協主事の石戸谷さんの「文部省から補助を受けなければならないのだが、そのために活動が制約される。その自主的活動が、型にはまらなぬものになるおそれがある。町の一般財源のみでまかなっている。地域内の問題は、下からの、もろあがりやを導くようにしている」ということがそれです。

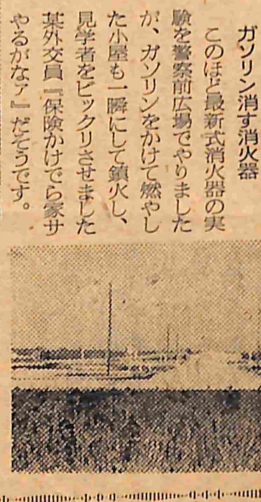
○いもち病の徹底防除
このような年は、いもちが異常発生する危険があります。注意するとともに防除に万全を期しましょう。

○窒素肥料の抑制
低温が続くと生育が悪く見えますが、これは肥料が足りないのではなく、生育がおくれいるためです。窒素肥料は平年よりひかえ目にし、少しでも検査をよくする栽培に力を入れましょう。

天候も八月末に低温がやってくるといふ線は、いまでもくすんでいません。台風も一、二回ある見込みのことですから注意しましょう。

○お金よりも人
愛町運動が土台
すべて、お金があれば、それに越したものはありませんが、やはり、それを実践に移していくためにはなんといつても、それを進めに行く「人」を得ることだと思えます。いくらお金があってもムダづかいではだめです。その点南部町は揃っている感じがします。社会教育の総合計画にはそれが現われていると思えます。愛町運動の土台の上に、青年のためには多子会議を、老人のためには多子クラブそして婦人には婦人学

写真ニュース



ガソリン消火器
このほど最新式消火器の実験を警察面協力でやりました。ガソリンをかけて燃やした小屋も一瞬にして鎮火し、見学者をビックリさせました。某外交員「保険かけてから家守やるがな」だそうです。

自動車が名所に、開校らしい、ワンサと生徒が押しかけているので、ホクホク顔の金木自動車学校は、町の名所の存在になっているとのワワサもつづらです。

走路沿いに屋は色とりどりの飾り、夜は高い柱から美しい光を放っており郡北には珍しい学校ではあるがこじんまりとした美しさがあります。

中心にした社会教育活動については「町づくり」のための「人づくり」計画がたてられ、そして着々その成果をあげてきているので、一朝一夕ではできないことだと思えます。

司会 今度は、南部町のあらましや、生活改善、そして公民館を

夏の防犯



夏は暑さで心がゆるみ、夜は宵宮、夏まつりなどで外出しがち、学生、生徒は長い休みとなり、また涼風を求めて海、山行などのため、とくに犯罪や事故が多くなります。今までの例からみてつきのようなことに気をつけましょう。

水死事故をなくしましょう

- ①きびな場所でも水泳をさせないこと。
- ②小さい子供が水泳に行くときは、おとなが付きまわること。
- ③天候が悪い時、体ぐあいの悪いときは、みあわせる。
- ④泳ぐ前に必ず準備運動をするべきこと。

夏の性犯罪の予防

- ①夜間はもちろん、昼間でも人通りや人家のない、さびしい道の一人歩きはさけること。
- ②誰もおらない山林内での単任事なども危険ですからさけること。
- ③身だしなみに十分気をつけて、誘惑的な服装や態度はつしむこと。
- ④少年を不良化から守ろう

交通安全をなくしよう

- ①子供を道路で走らせさせない。
- ②車のかけや小路からとつぜん飛び出すことは危険です。
- ③走っている車のあとを追いかけて、ぶらさがったりするのを見かけますが非常に危険です。

金木警察署
金木地区防犯協会

町民野球大会組み合わせ

1 相互銀行	2 運送クラブ	3 養鶏チーム	4 喜良市	5 寺町	6 宮林署	7 泉谷製材所	8 郵便局	9 金木病院	10 役場	11 学校チーム	12 瀬	13 町内チーム
--------	---------	---------	-------	------	-------	---------	-------	--------	-------	----------	------	----------

とき 8月 10日(土) 11日(日)
17日(土) 18日(日)
ところ 芦野グラウンド

第2回町民野球大会

○参加料=1チーム500円
○競技方法=トーナメント方式
主催 金木町体育協会